

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	ホームの運営は、管理者の指示に基づいて実践することが多い。職員は運営の当事者あることを意識し、更に自主的に意見を表すことのできるような環境づくりを望みたい。	ひとりひとりが指示待ちではなく、自主的に考え、判断し、行動し、結果を省みて改善できるような自主性に富んだ人材育成をめざし、柔軟性を持った組織作りを目標とする。	考えるためのしくみ、コーチングやスーパービジョンの応用。	12ヶ月
2	36	現在、利用者の重度化が進み、併せて職員配置が手薄な状態にある。多忙を原因として、日々に支援が職員の都合優先とならないように望みたい。	入居者の「選択と自己決定」を促し、パーソンセンタードケアができていない支援を目指す。できないことを外部の要因だ逃げないで創意工夫による知恵と協力で前向きに対処できることを目的とする。	まずはひとり1日の中での支援方法の事例を解析し、ひとつひとつの支援がパーソンセンタードケアになっているかどうかを判断し、常に判断の基準が「入居者本位であること」の有無の検証を行い、判断のくせづけをしていくこと。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。